
** 日本学術会議ニュース・メール ** No. 369 ** 2012/12/14

日本学術会議公開シンポジウム「地域研究の「粋」を味わう

現地から中国、東南アジア、アフリカ、中東を読む」の開催について(ご案内)

(開催趣旨)

地域研究とは何か。海外のさまざまな現象を研究する「地域研究」が、日本で学問として市民権を得るようになって、半世紀近くが経つ。欧米の「エリア・スタディーズ」が冷戦期の戦略的な志向をもち、その学術性に疑問が投げかけられがちなのに対して、日本の地域研究は、より幅広く、特定の利害関係から自由な、豊かな学問として発展してきた。海外の現象から得られる「発見」。世界のなかに自らをおくことで可能となる「相対化」。海外のさまざまな事象を比較して、一般則を見出す「比較」。そしてそれぞれの地域の文化、社会の独自性を知ることを前提とする「多文化共生」。グローバル化された現代社会に、地域研究は不可欠である。

本シンポジウムでは、中国、東南アジア、アフリカ、中東を舞台に、長年「地域研究」に携わってきた専門家が、それぞれの地域研究の「粋」を語る。同時に、同じ地域研究でも、それぞれが専門とする学問分野の違いによって多様なアプローチがあることを、報告から感じて欲しい。

◆日 時:平成24年12月19日(水)13:00~18:00(12:30 開場)

◆会 場:日本学術会議講堂(東京都港区六本木7-22-34)

プログラム

13:00 開催趣旨説明

田中耕司(日本学術会議第一部会員 京都大学特任教授 学術研究支援室長)

13:10-13:40 基調講演

酒井啓子(日本学術会議第一部会員 千葉大学法経学部教授) 武内進一(日本学術会議連携会員 日本貿易振興機構アジア経済研究所 地域研究センターアフリカ研究グループ長)

- 13:40 第一報告 国分良成(日本学術会議連携会員 防衛大学校 学校長)中国 「地域研究としての中国研究—世界と日本のあいだ」
- 14:25 第二報告 桜井由躬雄(東京大学名誉教授 京都大学客員教授)東南アジア 「ベトナムの小村バックコックを舐めるー「私」の地域学の20年ー」
- 15:10 休憩
- 15:25 第三報告 松田素二(京都大学文学研究科 教授)アフリカ 「アフリカから多文化・多民族共生の技法を学ぶ一地域研究の醍醐味」
- 16:10 第四報告 長沢栄治(東京大学東洋文化研究所 教授)中東 「地域研究における私的なものと公的なもの」
- 16:55 総合討論

国分良成(日本学術会議連携会員 防衛大学校 学校長)中国 桜井由躬雄(東京大学名誉教授 京都大学客員教授) 東南アジア 松田素二(京都大学文学研究科 教授)アフリカ 長沢栄治(東京大学東洋文化研究所 教授)中東 酒井啓子(日本学術会議第一部会員、千葉大学法経学部教授) 武内進一(日本学術会議連携会員 日本貿易振興機構でジア経済研究)

武内進一(日本学術会議連携会員 日本貿易振興機構アジア経済研究所 地域研究センターアフリカ研究グループ長)

17:55 閉会の辞

小松久男(日本学術会議第一部会員 東京外国語大学大学院 総合国際学研究院特任教授)

- ※ 一般公開。予約不要・参加費は無料。定員300名。
- ※ 後援:地域研究コンソーシアム(JCAS) 京都大学地域研究統合情報センター(CIAS)

NIHU プログラム イスラーム地域研究東京大学拠点

以下にご案内のポスターがあります。 http://www.scj.go.jp/ja/event/pdf2/163-s-1-2.pdf 【問合先】地域研究コンソーシアム(JCAS) 事務局 E-mail: jcasjimu@jcas.jp またはTEL: 075-753-9616 日本学術会議事務局第一部担当 嶋津(TEL:03-3403-5706) 日本学術会議では、Twitterを用いた広報を始めました。 アカウントは、@scj_info です。 日本学術会議広報のTwitterのページはこちらから http://twitter.com/scj_info 学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから http://www.h4.dion.ne.jp/~jssf/text/doukousp/index.html ********************** 日本学術会議ニュースメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけ るようにお取り計らいください。 発行:日本学術会議事務局 http://www.scj.go.jp/ 〒106-8555 東京都港区六本木7-22-34